

こんにちは ふるいち順子です

※ 私からのお願い ※ このニュースをお読みいただくことが大きな支えになります。ぜひ、読んでいただける方をご紹介します。

発行 古市 順子 真田町本原(竹室) 2543-3 ☎/FAX 72-3261 メール: huruitij@ued.janis.or.jp ホームページ http://www.ued.or.jp/~huruitij/

NO. 180 2021年3月号



水仙の芽があちこちに出ていました。咲くのが楽しみです。(3/9)



現議場での最後の質問です

3月、卒園、卒業、退職など年度末で節目の時期ですね。

上田市議会3月定例会は、2月19日開会しました。一般質問は、3/1から3/3まで行われました。今回は会派の代表質問があり、私が日本共産党市議団を代表して行いました。(質問項目は表面、主な質問と答弁は裏面に記載しました。) 新型コロナウイルス感染症対策は、国の臨時交付金を活用した事業が、今年度の追加補正予算と、来年度当初予算の補正として、3/3提案されました。この中には、私の質問項目である旅館・ホテル事業者支援(宿泊予約キャンセル等支援事業、観光協会誘客促進事業、合宿等誘致促進事業)公共交通事業者支援も盛り込まれました。また、私が委員長を務める厚生委員会は、来年度当初予算については、一般会計に加え国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険、産婦人科病院など、特別会計も3月5日と8日の委員会で審査しました。

4/8告示、4/25投票の参院長野選挙区補選については、市民団体と3野党(立憲民主党、日本共産党、社会民主党)が立憲民主党の予定候補である羽田次郎氏と2/27、7項目の政策協定を結びました。

菅政権は政治モラルの退廃、政治の私物化と腐敗が一層あらわになり、国民の中に怒りと不信が広がっています。多くの人が新しい政治を模索している中で「共闘の力で政治は変えられる」という希望を信州から発信しましょう。(3/9)

3月議会 日本共産党市議団代表質問項目(3/1)

1. 新型コロナウイルス感染症対策について

○PCR 検査拡充、医療機関、高齢者施設への支援を国・県に要望すること

○地域経済対策について

- ・菅平をはじめ宿泊事業者への直接支援の実施を
- ・公共交通事業者への市独自支援の実施を
- ・より多くの市民が利用しやすい消費喚起策の検討を

○生活困窮者及び子育て世帯への支援について

- ・市独自の「たすけあい資金」の原資増額を
- ・生活保護申請における「扶養照会」の現状は?
- ・緊急就労支援事業への市独自の助成を
- ・今年度の就学援助の申請状況は?
- ・高校生を対象とした給付型奨学金の増額を

2. 今年度補正予算及び来年度当初予算について

○来年度予算の歳入について

○新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金について

○市独自事業の見直しと予算対応について

○国への要望について

3. 水道事業について

○水道事業の業務継続計画について

○上水道料金値上げについて、審議会の議論及び見解

4. 令和元年東日本台風災害について

○来年度末までの復旧見込、入札状況、不調時の対応

○台風災害の検証及び検証結果の市民への公開を

令和2年度3月追加補正予算の主な施策(3/3提案)

○旅館・ホテル事業者宿泊予約キャンセル等支援事業
以下のいずれかを給付する【予算額 1億5460万円】

・売り上げ減少事業者に20万円

・キャンセル宿泊人数に1000円を乗じた額が20万円を超える場合は20万円を超えた金額を加算(上限300万)

○暮らしを守る公共交通支援事業【予算額 4900万円】

指定地方公共機関である交通事業者(しなの鉄道、上田電鉄、上田バス、千曲バス)に対して、県との協調により、運行継続に係る経費の一部を支援する。

参院長野選挙区補選 政策協定書が結ばれました

「立憲主義を回復し、憲法と暮らしを政治に生かし、競争と自己責任の社会から、いのちと人間の尊厳を守る社会へ」をスローガンに、市民団体と3野党、羽田次郎氏で、また日本共産党と立憲民主党、羽田次郎氏の3者でも政策協定が結ばれました。

3月7日、日本共産党県党会議で、羽田次郎氏があいさつされました。政策協定書をいつも持っているとのこと、誠実な人柄を感じました。



3月議会 代表質問の主な質問と答弁

問医療機関や高齢者施設等のPCR検査の拡充と、医療機関等の経営改善と医療従事者の負担軽減措置を国や県に要望すべきではないでしょうか。

答高齢者施設等でのクラスターを防止するため、感染状況により、保健所と連携して対応します。公的医療機関への国県補助金拡充を要望し、これまでも市独自の支援を行っています。今後も国県等へ要望を行います。

問菅平高原では、新型コロナウイルス感染拡大により、大きな影響を受けていますが、どのようにとらえていますか。また、菅平は合併によって市の大きな財産となりましたが、位置づけをどのように考えているのでしょうか。

答菅平は夏冬ともに売り上げベースで、対前年比9割減の状態が続いており、非常に厳しい経営状況です。菅平はスポーツ合宿地として80年の歴史があり、105の宿泊施設、108面のグラウンド、サニアパークなどの拠点施設もあります。また12のゲレンデがあり、市内の温泉地とともに冬季の観光産業の柱です。夏冬を通じて110万人が訪れる当市の重要な観光拠点と認識しています。今後も魅力を積極的に発信しながら、通年型、滞在型のリゾート地をめざして取り組んでまいります。

問地方創生臨時交付金を活用して、菅平の支援をはじめ、市内の宿泊事業者への給付型支援を早急に実施すべきではないでしょうか。

答売り上げ減少事業者に一定額の直接支援を行うとともに、宿泊事業者に対しては、キャンセル数に応じた直接支援を実施してまいります。

問地域公共交通はまちづくりの土台としての役割が大きいです。公共交通事業者も大変苦しい経営状況です。市としてどのような支援を検討しているのでしょうか。

答公共交通を維持するために支援策を検討中です。市民の利用促進や観光による需要喚起の支援のあり方も検討します。

問生活保護の扶養照会(福祉事務所が親族に対し、生活の援助が可能か問い合わせること)は、日本共産党の国会質問で、厚労大臣は「義務ではない。」と答えていますが、上田市の現状はどうでしょうか。

答申請者から丁寧な聞き取りを行い、交流断絶など慎重に検討し、扶養照会が適当でない場合は実施していません。申請者には安否確認等精神的な援助も必要であり、今後も正確かつ公平な対応をしてまいります。

問新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、国は第3次予算で1兆円追加しましたが、上田市への交付額はどのくらいを見込み、留保財源と合わせどのように活用を検討しているのでしょうか。

答7億3千万余が示され、留保2億円他を合わせ、中小事業者支援などの地域経済の立て直しや、感染対策に最大限活用してまいります。

問来年度当初予算において、見直しを行った市独自事業の件数と金額、主な事業を伺います。

答一般会計で158件、前年度比で3億円余の見直しを実施しています。廃止または終了が27件、休止が4件、終期設定が2件、縮小・見直しが73件などです。主な事業は、職員被覆購入、敬老祝金、チラシや行政資料の印刷、庁用車両のスリム化、まちなか循環バスなど事業の効率性、有効性を精査し見直しを行いました。

問新型コロナウイルス影響下で、優先すべき必要な事業の積み上げと既存事業の見直しを総合的に進める方法を確立すべきですが、見解を伺います。

答各課1事業の見直しを検討することとし、各課において新たな手法や発想が研究され、見直しが図られたと考えています。事業の優先度の精査を行うとともに、既存事業の縮減、制度の見直しを一層推進します。

問上下水道審議会から、今年10月に上水道料金の値上の答申がありました。設定時期の根拠はどうでしょうか。

答本来は4月1日の改定が望ましい訳ですが、現在のコロナ禍であるといった状況も考慮したうえで、改定時期をある程度遅らせた場合の、資金面、経営面へ与える影響等をシミュレーションし、判断をしていただきました。

問新型コロナウイルス対応で、多くの自治体が水道料の減免を実施している中で、この時期の値上げは、市民の理解が得られないと考えますが、見解を伺います。

答審議会のメンバーは、自治会関係者、事業者、消費者団体等幅広い分野から選出されておりますので、今回の答申内容につきましては、十分に市民の考えも反映されているものと受け止めております。

前号からの活動報告

- 2 / 21 日本共産党上小更埴地区党会議
- 2 / 26 上田市議会予算特別委員会理事会
- 3 / 1 上田駅前宣伝
- 3 / 1～3 上田市議会一般質問
- 3 / 4 上田市役所 新庁舎見学会
健康づくり推進特別委員会
- 3 / 5 上田市議会厚生委員会・分科会
- 3 / 7 日本共産党長野県党会議
- 3 / 8 上田市議会厚生委員会・分科会

これからの予定(3/9現在)

- 3 / 12 上田市議会政策討論会

我が家の庭だより

卒園式・卒業式の時期ですが、今年も来賓は出席見合わせの通知を、あちこちからいただきました。わが家の孫も卒園・卒業で残念な思いもありますが、関係者の皆さんは、主役の子どもたちの心に残る式を、企画されていることでしょう。

東日本大震災から10年ということで、連日、特集番組やドラマが放送されています。どれも震災の傷跡は大きく、『また10年』との感を強くします。大切な人や家も財産も失って、それでも前向きに生きていこうと頑張っている姿に、希望を感じ励まされます。しかし、コロナ禍や2月の地震など度重なる災害、復興公営住宅の家賃の引き上げに苦しむ高齢者も多いとの報道もあります。被災者を支援する温かな政治が、ますます必要です。